

科目名	現場実習 4								年度	2026
英語科目名	Practicum 4								学期	前期
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制	3年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	内田・鈴木・杉浦			教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー	

【科目の目的】

アスレティックトレーナーとして必要な項目を、自発的に実施できることを目的とする

【科目の概要】

学内外でアスレティックトレーナーとしての実務経験を積んでいきます。

【到達目標】

スポーツトレーナーの果たすべき役割・業務を体験を通じて理解する。

【授業の注意点】

報告書提出すること。
身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	スポーツ動作について再発予防としての動作の見方は概ね、実施できる		スポーツ動作について再発予防としての動作の見方に際し、概ね、助言および指導が必要である		スポーツ動作について再発予防としての動作の見方は見学に留める必要がある
到達目標 B	コンディションの把握とデータ活用は概ね、実施できる		コンディションの把握とデータ活用に際し、概ね、助言および指導が必要である		コンディションの把握とデータ活用はできない
到達目標 C	プレイヤーの状態に応じた専門的ウォームアップを概ね、実施できる		専門的ウォームアップの実施に際し、概ね、助言および指導が必要である		専門的ウォームアップは見学に留める必要がある
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

配布プリント

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

レポート・平常点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		現場実習 4			年度	2026
英語表記		Practicum 4			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	総合実習	選手のパフォーマンスアップのためのトレーナ活動を総合的に実施する	1 重篤なスポーツ外傷・障害の予防	発生要因を分析し、予防プログラムの立案が実施できる	2	
2					2	
3					2	
4			2 感染症対策	感染症対策の実施は、実施できる	2	
5					2	
6			3 テーピング	選手の状態や考え方に合わせ、テーピングが実施できる	2	
7					2	
8					2	
9			4 コンディションの情報管理と検査・測定・評価	コンディションの把握とデータ活用が実施することができ、身体各項目の評価を臨機応変にすることができる。	2	
10					2	
11					2	
12			5 ウォーミングアップ等指導実践	季節、環境、プレーヤーの状態に応じたウォームアップを実施できる。また、種目特性に応じた専門的な立案と指導ができる	2	
13					2	
14					2	
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等